

# ワケ カタチには理由がある(117)

Shape follows Function  
& Taste

## ～スピットファイア(Spitfire)Mk.XIV



(マーリンエンジン搭載の Mk. IX と : 機首のイメージが大きく異なります。プロペラの回転方向が逆になっていることにも注目↓)



本機 Mk.XIV(14)型は、マーリンエンジンに代えてグリフォンエンジンを搭載したスピットファイアの最初の型です。形式的には、米国製パッカーダマーリンを搭載した Mk.XVI(16)を除いて、これ以降の型は Mk.22/24 まで全てグリフォンエンジン搭載となります。このグリフォンエンジンは、マーリンでやや上にあったプロペラ回転軸が下がり、胴体の中心に位置しています。それに伴いスピナーが大型化され、5枚になったプロペラとともに、マーリン・スピットファイアと比べると大きく機首の印象が変わります。個人的にはガンダムからガンダム Mk-II になったという感じで、好きなスピットファイアです。なお、グリフォンエンジン(パイロットから見て反時計回り)はマーリンエンジン(同時計回り)と回転方向が逆のため、マーリン・スピットでの空戦に慣れていたパイロットには、相当な違和感があったのではないかと想像します。

### 【模型について】

フジミ(Fujimi)の 1/72 のキットです。1980 年代後半(1987 年だったか)にリリースされたキットですが、それまではさらに古いフログのキットしかなかったため(もっとも、これはこれで V-1 飛行爆弾もパーツ化されていて、楽しいキットでしたが)、当時リリースされたときは、とてもうれしかった覚えがあります。このキットは背中が別パーツになっており、バリエーションとしてバブルキャノピー型や風防に前面枠のない偵察機型もリリースされていました。(中川裕幸 2024 年 11 月)